

# 調布市景観形成ガイドライン（色彩編）の概要

景観形成ガイドライン（色彩編）は、景観法に基づく届出が義務づけられている行為のうち、建築物の新築等や工作物の新設等を行う場合を対象に、調布市景観計画で定められた色彩に関する景観形成基準の内容や考え方をわかりやすく解説するとともに、新たに地区ごとに推奨色を定め明示しています。

また、景観に対する意識啓発を図っていくことを目的に、色彩を活用した景観づくりや、色彩の基礎知識など、届出規模に満たない戸建住宅などを含めた建築物の色彩についての考え方も記載しています。

## 第1章 本ガイドラインの基本方針

市では、景観まちづくりを進めるうえでの基本的な考え方や方向性を示すものとして、平成24年4月に「調布市景観基本計画」を策定しています。また、平成25年6月には景観行政団体となり、景観まちづくりに取り組んでいます。

調布市景観基本計画において定める、基本目標や景観まちづくりの基本方針を受けて、建物などの色彩を生かした景観づくりに取り組むことにより、良好な景観形成の実現を目指します。

## 第2章 位置づけと活用方法

景観形成ガイドライン（色彩編）は、調布市景観計画で定められた色彩に関する景観形成基準の内容や考え方をわかりやすく解説するとともに、新たに地区ごとに推奨色を定めることなどにより、良好な景観形成を推進していくことを目的としています。また、色彩を活用した景観づくりや、色彩の知識を紹介し、景観に対する意識啓発を図っていくことを目的としています。

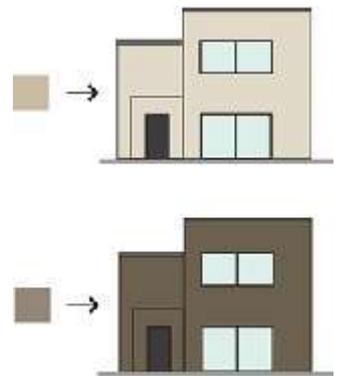
## 第3章 景観形成における色彩について

### 1. 建物の色と基礎知識

#### ①色の面積効果

小さな色見本の確認だけで色を決める場合、大きな面積になったとき、明るさや色味に差が生じイメージが変化して見える現象を色の面積効果といいます。明るい色は、大きな面積になると、より明るい色に見え、暗い色は、大きな面積になると、より暗い色に見えます。

また、パステルカラーのような明るい有彩色は、彩度も増したように感じ、暗い有彩色は、彩度も低くなったように感じます。外壁の色を選択する際には、色の面積効果を十分に考慮しないと異なる印象の建物になることがありますので注意しましょう。



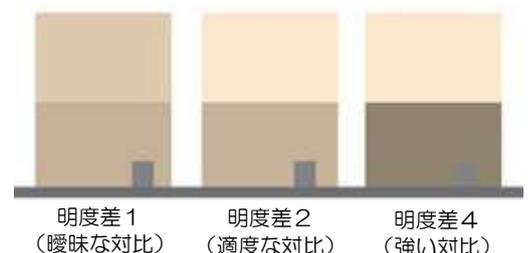
注：見え方を疑似的に再現しています。

#### ②心理的な重さとイメージ

色には心理的な重さがあります。明るい色は軽く感じ、暗い色は重く感じます。軽快な建物にしたい場合は、明るい色を多くし、重厚感を持たせたい場合は、暗い色を多くします。また、複数の色を使用する場合は、低層部を暗い色にした方が、建物が安定して見えます。

#### ③明度差の対比効果

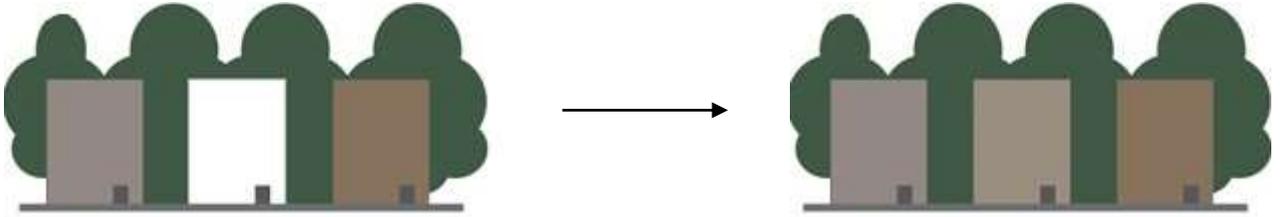
複数の色で配色をするときには、明度差の対比効果を意識しましょう。対比が弱いと、優しく繊細な配色になり、適度な対比では落ち着いた配色となります。また、対比が強いと力強い配色となります。



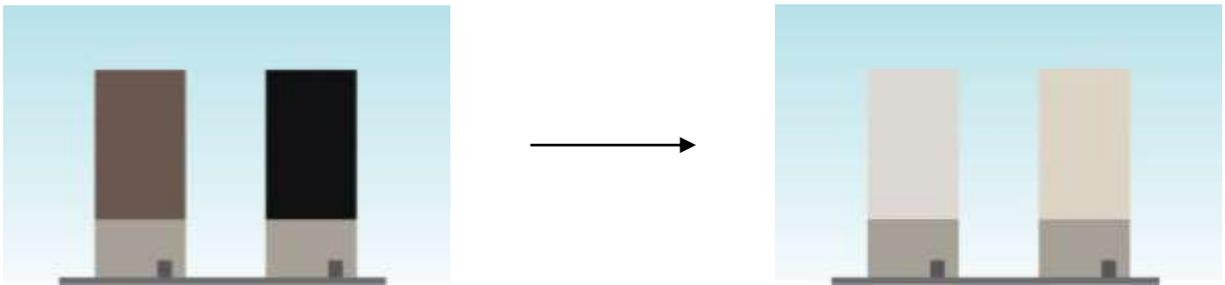
## 2. 色彩調和の基礎知識

### ① 周辺環境との調和

緑が背景となる場所で極端に明るい色の建物や、空が背景となる場所で極端に暗い色の建物は、背景よりも建物が目立ってしまいます。建物の背景がどのような場所なのかを十分に観察し、周辺景観と調和する色彩を選択しましょう。



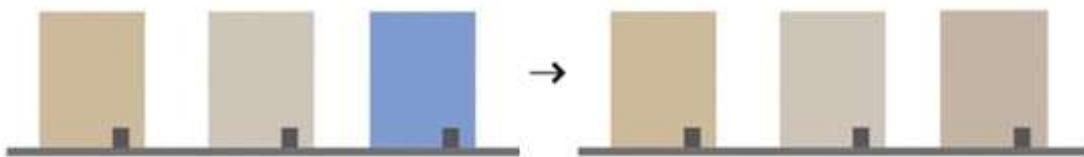
緑を背景とする場所に極端に明るい色の建物は目立ちますが、YR（黄赤）やY（黄）系の落ち着いた色を使用することで自然環境と調和します。



空を背景とする場所に極端に暗い色の建物は目立ち、明るい色の建物は空と調和します。

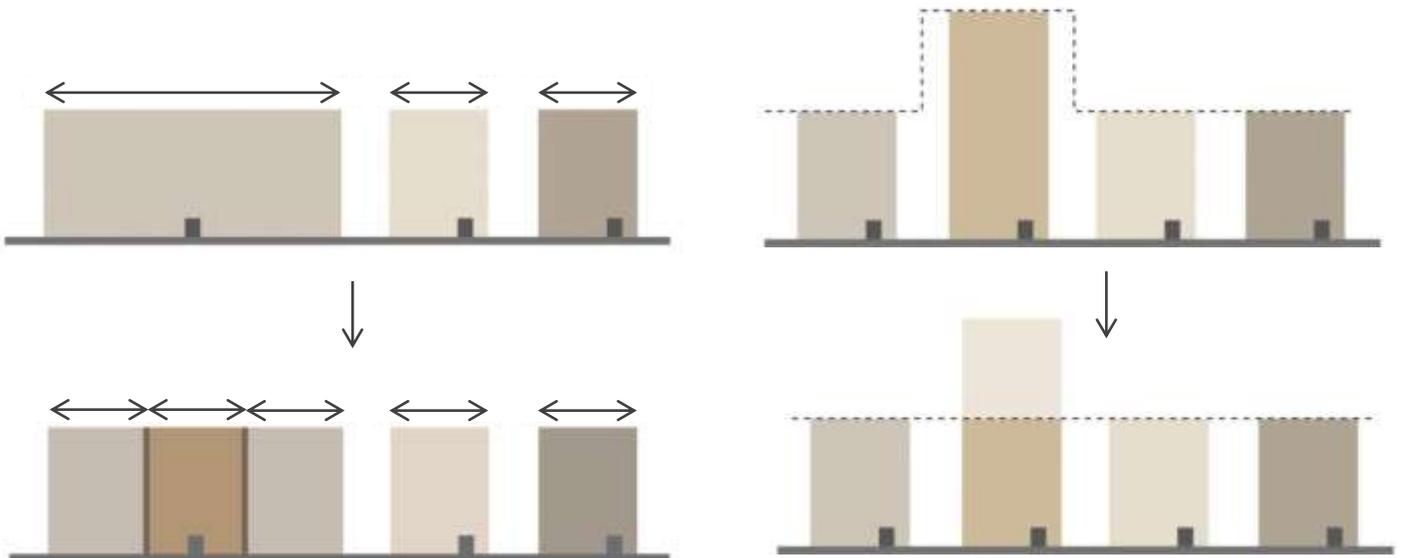
### ② 周辺建物との調和

周辺建物との調和を考え、色を選択しましょう。周辺から突出した色彩は周りの景観から浮いた印象となってしまいます。



建物単体で、色彩計画を行うのではなく、周辺との調和を考えながら計画を行いましょ。

また、周辺の建物より高い建物や長い壁面をもつ建物は、周辺の建物から突出し目立ってしまいます。周辺の建物高さに合わせ建物高層部と低層部で色を切り替えたり、周辺の建物幅に合わせアクセント色などにより壁面を分節することで、周辺の建物規模に調和させましょう。



周辺の建物幅に合わせ、分節化を行います。

周辺の建物高さに合わせ、低層部と高層部の色を変えます。

## 第4章 景観計画における色彩基準と推奨色

色彩基準とは、調布市景観計画で定められた色彩に関する景観形成基準です。景観法の届出において、守らなければならない基準で、景観形成重点地区の基準、景観形成推進地区及び一般地域の基準の2種類があります。

また、推奨色とは、調布市の魅力をより高めるために、市内の自然環境や歴史文化資源などから抽出した景観の基調となる色彩を考慮して、建築物の外壁の色について、色彩基準の中から、お勧めの色として地区ごとに新たに選定したものです。届出対象となる一定規模以上の建築物の色彩計画の際に参考とするだけでなく、届出対象とならない建築物を建築する際も参考として活用してください。

### 1. 景観形成重点地区

#### ① 色彩基準による使用可能色等の範囲

| 外壁基本色      |                |      | 外壁<br>強調色 | 屋根色（勾配屋根） |      |
|------------|----------------|------|-----------|-----------|------|
| 色相         | 明度             | 彩度   | 彩度        | 明度        | 彩度   |
| OR~4.9R    | 4 以上<br>8.5 未満 | 4 以下 | 4 以下      | 6 以下      | 2 以下 |
| 5.0YR~5.0Y |                |      | 6 以下      |           | 4 以下 |
| その他        |                |      | 2 以下      |           | 2 以下 |



#### ② 推奨色（外壁基本色）の範囲【深大寺通り周辺地区】

| 推奨色（外壁基本色） |              |                |
|------------|--------------|----------------|
| 色相         | 明度           | 彩度             |
| 5.0YR~5.0Y | 4 以上<br>6 以下 | 0.5 以上<br>3 以下 |

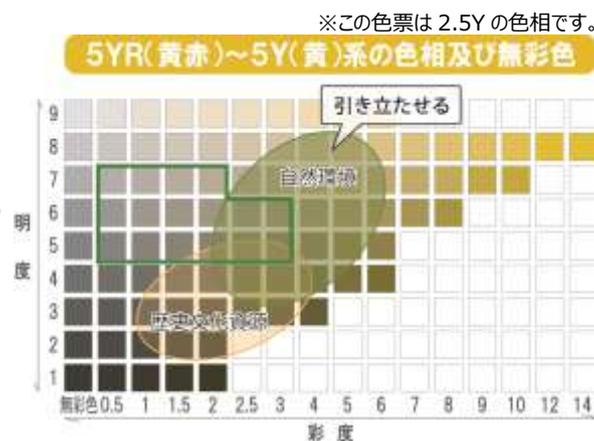
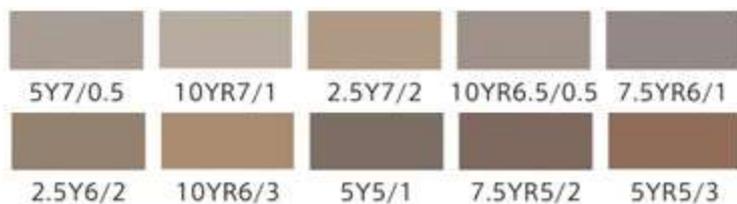
#### ■ 推奨色パレット（※日本塗装工業会の2015年H版塗装標準色より選択）



#### ③ 推奨色（外壁基本色）の範囲【国分寺崖線地区】

| 推奨色（外壁基本色） |              |                |
|------------|--------------|----------------|
| 色相         | 明度           | 彩度             |
| 5.0YR~5.0Y | 5 以上<br>6 以下 | 0.5 以上<br>3 以下 |
|            | 6 超<br>7 以下  | 0.5 以上<br>2 以下 |

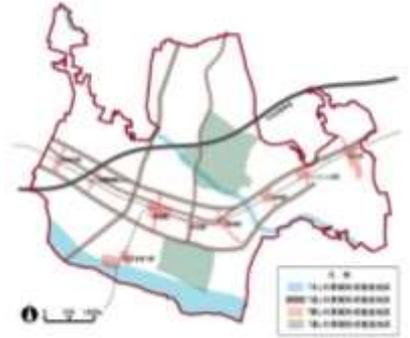
#### ■ 推奨色パレット（※日本塗装工業会の2015年H版塗装標準色より選択）



## 2.一般地域・景観形成推進地区

### ①色彩基準による使用可能色等の範囲

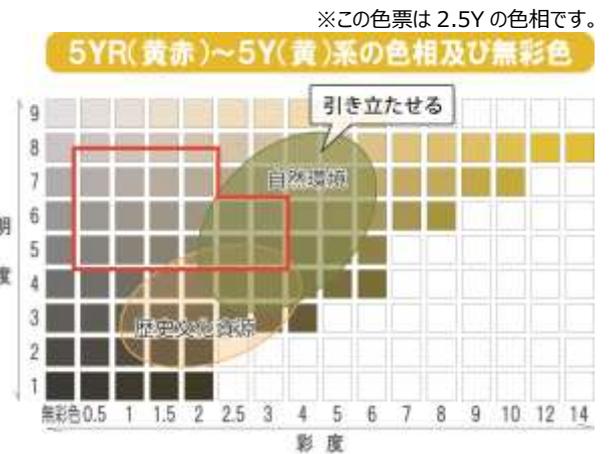
| 外壁基本色      |             |        | 外壁強調色 | 屋根色                    |
|------------|-------------|--------|-------|------------------------|
| 色相         | 明度          | 彩度     | 彩度    |                        |
| OR~4.9R    | 4 以上 8.5 未満 | 4 以下   | 4 以下  | 屋根面の立ち上がりを含めて面積割合を算出する |
|            | 8.5 以上      | 1.5 以下 |       |                        |
| 5.0YR~5.0Y | 4 以上 8.5 未満 | 6 以下   | 6 以下  |                        |
|            | 8.5 以上      | 2 以下   |       |                        |
| その他        | 4 以上 8.5 未満 | 2 以下   | 2 以下  |                        |
|            | 8.5 以上      | 1 以下   |       |                        |



### ②推奨色（外壁基本色）の範囲【一般地域・景観形成推進地区】

| 推奨色（外壁基本色） |               |                |
|------------|---------------|----------------|
| 色相         | 明度            | 彩度             |
| 5.0YR~5.0Y | 5 以上<br>6 以下  | 0.5 以上<br>3 以下 |
|            | 6 超<br>8.5 以下 | 0.5 以上<br>2 以下 |

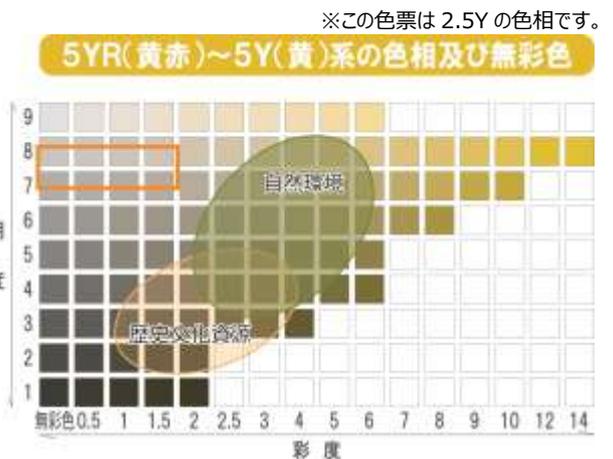
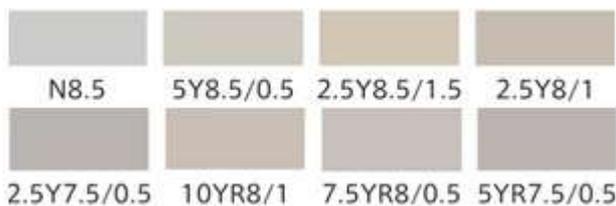
#### ■推奨色パレット（※日本塗装工業会の2015年H版塗装標準色より選択）



### ③推奨色（外壁基本色）の範囲【15mを超える中高層外壁部】

| 推奨色（外壁基本色） |                  |        |
|------------|------------------|--------|
| 色相         | 明度               | 彩度     |
| 5.0YR~5.0Y | 7.5 以上<br>8.5 以下 | 1.5 以下 |
| 無彩色        | 7.5 以上<br>8.5 以下 | —      |

#### ■推奨色パレット（※日本塗装工業会の2015年H版塗装標準色より選択）



※印刷による色再現のため、実際のマンセル値と図版等の色彩が異なる場合がありますのでご注意ください。

こちらは、調布市景観形成ガイドライン（色彩編）の概要となります。ガイドラインは市のホームページで公表していますのでご活用ください。